

2018 年 登録ランドスケープアーキテクト（RLA）資格認定試験

二次試験（その２） 問題・解答用紙

注 意 事 項

- ① 二次試験（その２）は、No.3、No.4、No.5 の３問で、解答時間は３時間15分（195分）です。
- ② 問題用紙（下書き用紙含む）は、No.3 が２枚、No.4 が２枚、No.5 が２枚で合計６枚です。
解答用紙はNo.3 が１枚、No.4 が１枚、No.5 が１枚で合計３枚です。
- ③ 問題は全問必須ですから、３問すべてに解答してください。
なお、配点はNo.3 が20点、No.4 が20点、No.5 が20点で、60点満点です。
- ④ 解答用紙の全ページに受験番号をご記入ください。
- ⑤ 問題用紙、解答用紙はのり付けを切り放して使用してください。
- ⑥ 解答は、解答用紙に黒の鉛筆、シャープペンシル、またはペン等で記入してください。
下書き等に色を使用してもさしつかえありませんが、色を使った表現を解答した場合はその表現はすべて採点対象外となります。また、下書き用紙への記述はすべて採点対象外です。解答は解答用紙のみ記入してください。
- ⑦ 問題用紙の余白、下書き用紙は、計算等に使用してもさしつかえありません。
ただし、解答用紙には、計算等解答に関係のない記述はしないでください。
- ⑧ なお、二次試験（その２）は、No.3、No.4、No.5 のそれぞれの採点結果を合計して評価いたします。
いずれかの採点結果が著しく低い場合は合格に至らない場合があります。
- ⑨ 試験終了後は、解答用紙をページ順に並べ、机の上に置いてください。係員が回収するまでそのままお待ちください。
- ⑩ 問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者に限り、持ち帰りを認めます。
途中退席した場合は、持ち帰ることはできません。

No. 3 造成・排水設計図を作成しなさい （配点：20 点）

■出題テーマ

- ☐ 緩やかな斜面地形を活かした野外イベント広場の造成設計

■課題

設計対象地は、丘陵地にある総合公園の一部であり、既存林に囲まれた緩やかな斜面地である。この斜面地は南側から北側へ緩やかな傾斜がついており、北側に向かって良好な眺望が広がっている。

本設計は、公園の魅力を高めることを目的とし、既存林に囲まれた野外イベント広場を整備するために、緩やかな斜面を活かした芝生スタンドと園路の造成・排水設計を行うものである。

以下の課題について、各設計条件を満たす平面図を解答用紙に記入しなさい。

- 1．北側管理用園路に計画された屋根付きのステージに付随し、観客席として利用可能な芝生スタンドの造成設計を行いなさい。
- 2．南側既存園路の分岐点（A）から車いす用観覧席（C）及び（D）にアクセスして、分岐点（B）に至るバリアフリーに対応した園路を設けなさい。
- 3．園路及びステージ前広場に芝側溝、U型側溝、横断側溝、接続柵と排水管を、景観や利用に配慮して適切に設けなさい。

■敷地条件

- ☐ 設計対象地は緩やかな傾斜がついた斜面地で、周辺は雑木林となっている。
- ☐ 設計対象地の南には既設園路、北には管理用園路、西側には階段が整備され、南北の園路と接続して公園内の各施設と連絡している。
- ☐ 野外イベント広場の整備にともない、北側管理用園路に隣接して屋根付きのステージ（80㎡程度、計画高56.70）及び機材搬入用のバックヤード、ステージ前広場（計画高56.15～56.20）が整備される。
- ☐ 外周の園路にはそれぞれ排水施設が整備されており、設計対象地の雨水も受け入れられる。

■設計条件

＜造 成＞

- ☐ ステージに向かって観客席として利用する芝生スタンドと、園路を整備するための造成を行う範囲に凡例に従って設計上の等高線を作図すること。なお、芝生スタンドの勾配は1：5とする。
- ☐ 芝生スタンドの勾配を確保するため、必要最小限の造成を行う。
- ☐ 既存樹木は全て保存すること。既存樹木の地盤高は図示の通りである。
- ☐ 急激な勾配変化のないスムーズな地形となるようにし、擁壁またはそれに類する構造物は設けない。

＜園 路＞

- ☐ 園路は、縦断勾配5%以内、有効幅員W=2.0mとし、現況地形の改変を最小限にとどめるよう配慮すること。
- ☐ 園路には高低差75cm以下毎に長さ1.5mの踊り場を設け、その舗装仕上げ高（m単位）を小数点第2位まで記入する。
- ☐ 斜路となる区間では、各区間の平均勾配（i=○.○%）、延長（L=○.○m）を小数点第1位までを記入すること。
- ☐ 園路整備にともなう擁壁、それに類する構造物、転落防止に必要な施設や手すり等は、設けない。

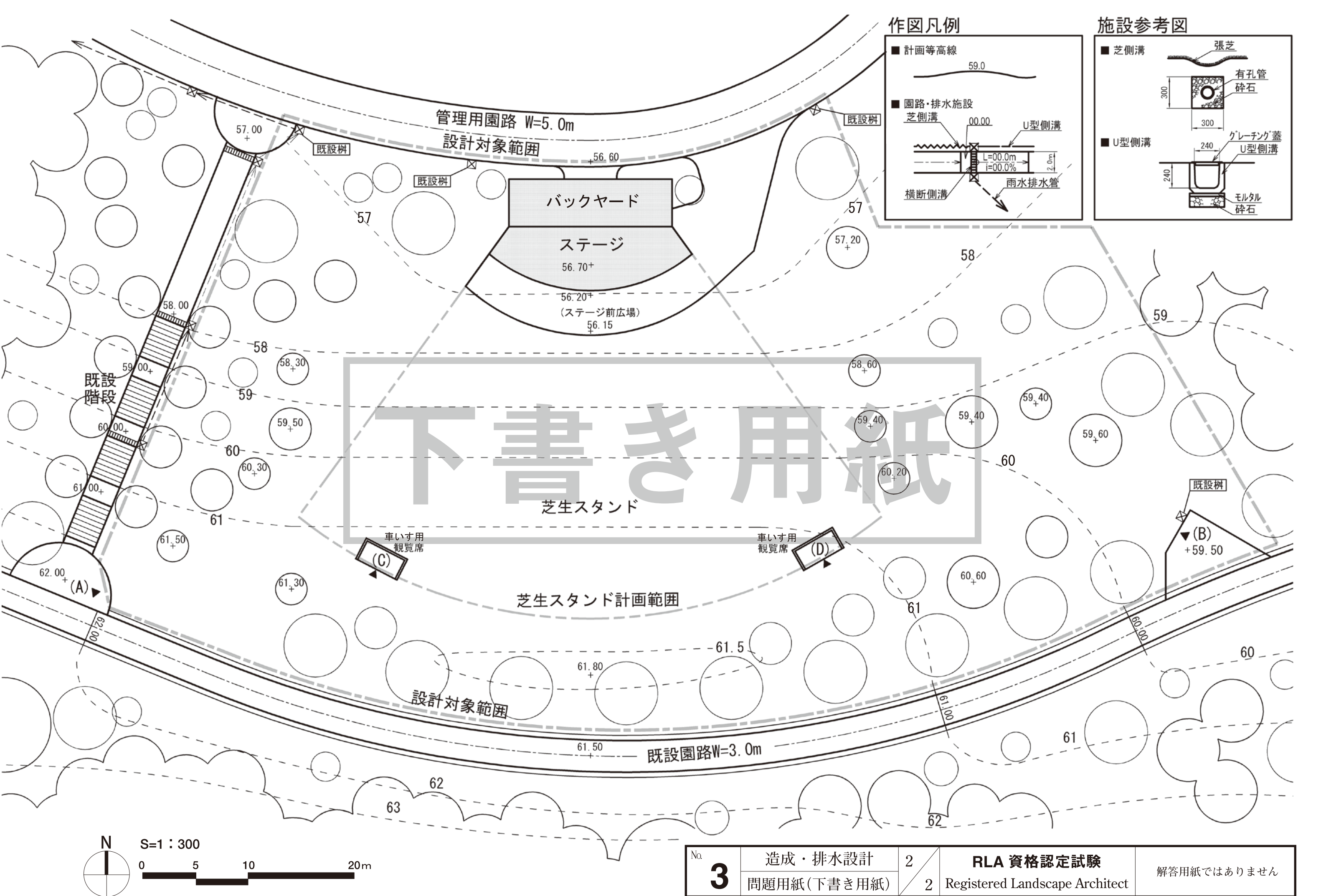
＜排水施設＞

- ☐ ステージ前広場には、芝生スタンド内の表面水を集水できる十分な排水施設を設けること。
- ☐ 園路の集水は、景観に配慮した簡易な排水施設とする。
- ☐ 排水施設の主な集水区域は、新設の園路と芝生スタンドとする。
- ☐ 雨水排水の流末は図中の既設柵に適切に接続すること。
- ☐ 排水管の管径、縦断勾配、管底高、許容排水能力、排水柵構造等は考慮しなくてよい。
- ☐ 雨水排水施設の図面表記については、凡例に従い図示すること。
- ☐ ステージ及びバックヤードからの雨水排水は考慮しなくてよい。

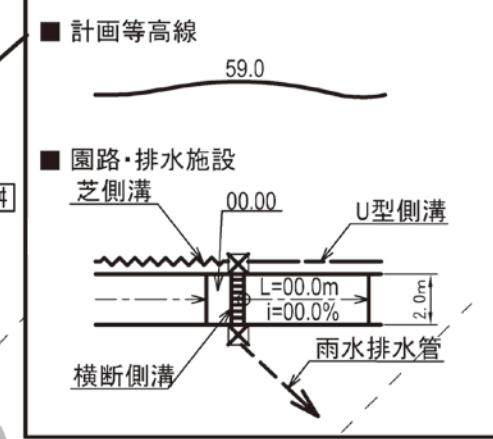
■解答における留意事項

- ☐ 作図は、凡例に従って分かりやすい表現とすること。

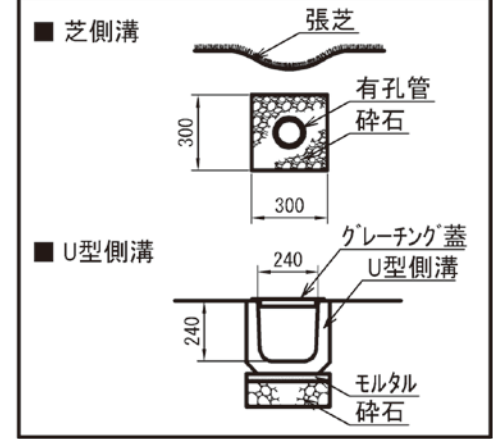
No. 3	造成・排水設計	1 2	RLA 資格認定試験 Registered Landscape Architect	
	問題用紙			



作図凡例



施設参考図



No. 4植栽設計図を作成しなさい(配点：20 点)

■出題テーマ

- ☐ デイサービスセンター（通所介護施設）の園地における植栽設計

■課題

都市近郊に整備するデイサービスセンター（通所介護施設）に付属する園地の植栽について、敷地条件、設計条件、解答における留意事項を満たす植栽設計の考え方を示し、植栽設計平面図等を作成しなさい。

1. 設計にあたり、解答用紙の設計対象地域に示す6地域の中から、あなたが設計を行う地域をひとつ選び、選択する地域の枠内に「✓」を記入しなさい。
2. あなたが設計を行う地域を代表する樹種を1種選び、その名称を記入しなさい。
3. 植栽設計の考え方と植栽する植物種の名称と形状寸法、ならびに鑑賞対象となる季節を凡例表に記入しなさい。
4. 植物種の配植を平面図に図示しなさい。

■敷地条件

- ☐ 設計対象地は、地域の植生が残る都市近郊の丘陵地に立地する。
- ☐ 設計対象地の北側は駐車場、南側は既存樹林、東側は道路に接しており、設計敷地と道路との高低差は約1.7mである。
- ☐ 南側の既存樹林は、地域の植生が残る良好な樹林となっている。
- ☐ 設計対象地の北東側には、田園風景と山並みへの眺望が広がっている。

■設計条件

- ☐ 設計対象地は、以下の3つに区分される。

＜セラピーガーデン＞

- ☐ セラピーガーデンは「Aの庭」「Bの庭」「レイズドベッド」で構成され、施設利用者の憩いや園芸療法の場となっている。
- ☐ 「Aの庭」と「Bの庭」において、それぞれに異なるテーマを持たせ、そのテーマに沿ったAの庭に植栽する低木・地被植物（3種類、A）、Bの庭に植栽する低木・地被植物（3種類、B）、ならびにレイズドベッドに植栽する地被植物（2種類、R）を設定し、凡例表に植栽設計の考え方、及び植物名とその鑑賞対象となる季節、形状寸法を記入すること。
- ☐ 配植は、既に図中に示した通りとする。

＜四季の広場＞

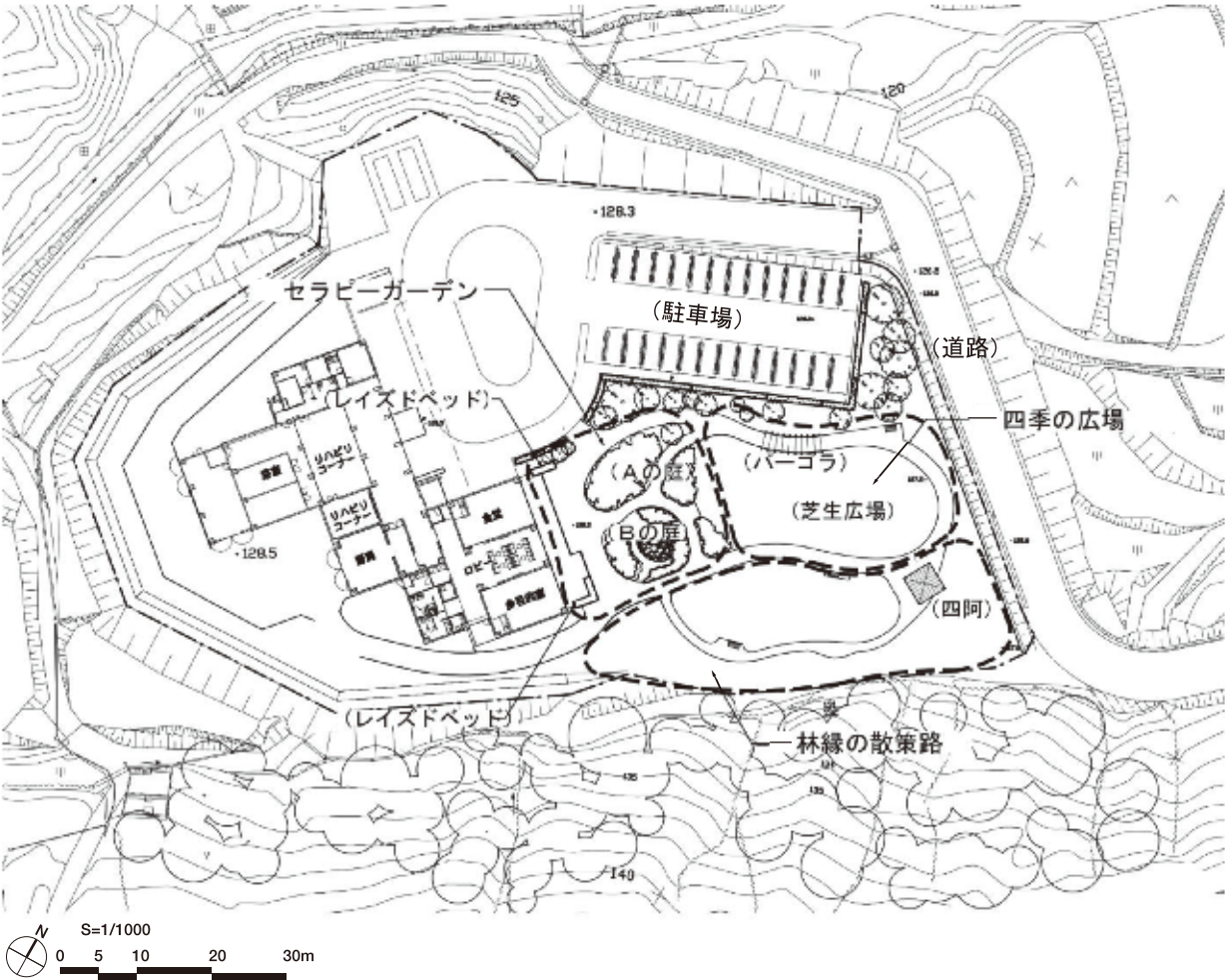
- ☐ 四季の広場は「芝生広場」「パーゴラ」「園路」「ベンチ」で構成され、四季を通じて散策や休憩、そして眺望を楽しむ広場となっている。
- ☐ 広場内に植栽する高木・中木（4種類、H1・H2・H3・H4）、低木・地被（2種類、h1・h2）、パーゴラへのツル性植物（1種類、t1）を設定し、図中に表示するとともに、凡例表に植栽設計の考え方、及び植物名とその鑑賞対象となる季節、形状寸法を凡例表に記入すること。

＜林縁の散策路＞

- ☐ 林縁の散策路は「散策路」「四阿」「ベンチ」で構成され、南側の既存樹林と調和した空間となっている。
- ☐ 植栽する高木・中木（3種類、F1・F2・F3）、低木・地被（3種類、f1・f2・f3）を設定し、図中に表示するとともに、凡例表に植栽設計の考え方、及び植物名、形状寸法を記入すること。

■解答における留意事項

- ☐ 植栽設計平面図に図示する植栽は、解答用紙に記載された凡例記号を記入すること。
また、図中に表示する樹木の大きさ（枝張）は、植栽後5年程度を想定して表現すること。
- ☐ 植物の名称は和名、または学名で記述すること。
- ☐ 形状寸法は市場性に配慮し、植栽時の寸法を記入すること。

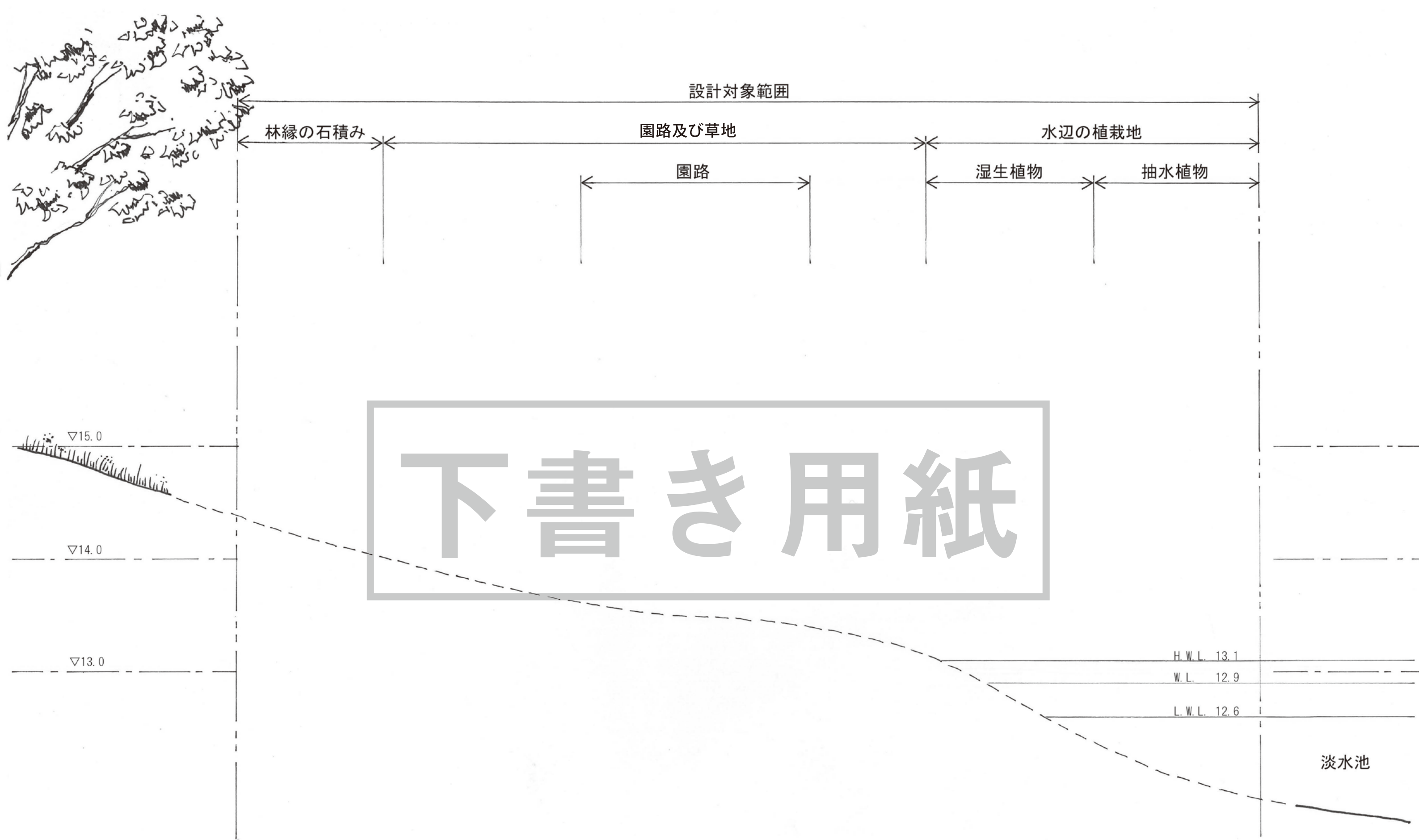


- #### 4. 植栽平面図の作成



	記号	区分	植物名	形状寸法 (m)			
				H	C	W	
セラピーガーデン	Aの庭 ※ () 内には鑑賞対象となる季節を記入すること、以下同様						
	A	低木・地被	()				
	A	低木・地被	()				
	A	低木・地被	()				
	考え方	-----					
	Bの庭						
	B	低木・地被	()				
	B	低木・地被	()				
	B	低木・地被	()				
	考え方	-----					
	レイズドベッド						
	R	地被	()				
	R	地被	()				
	考え方	-----					
四季の広場	H1	高木・中木	()				
	H2	高木・中木	()				
	H3	高木・中木	()				
	H4	高木・中木	()				
	h1	低木・地被	()				
	h2	低木・地被	()				
	t1	ツル性植物	()				
	考え方	-----					
	林縁の散策路	F1	高木・中木				
		F2	高木・中木				
F3		高木・中木					
f1		低木・地被					
f2		低木・地被					
f3		低木・地被					
考え方		-----					

No. 5 詳細図を作成しなさい (配点：20 点)



DL=11.0

S=1 : 30

No.

5

詳細図

問題用紙(下書き用紙)

2

2

RLA 資格認定試験

Registered Landscape Architect

解答用紙ではありません

■ 計画等高線

59.0

■ 園路・排水施設

芝側溝

00.00

U型側溝

L=00.0m
i=00.0%

2.0尺

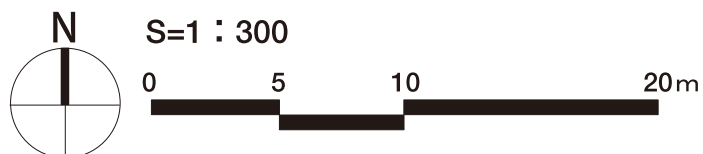
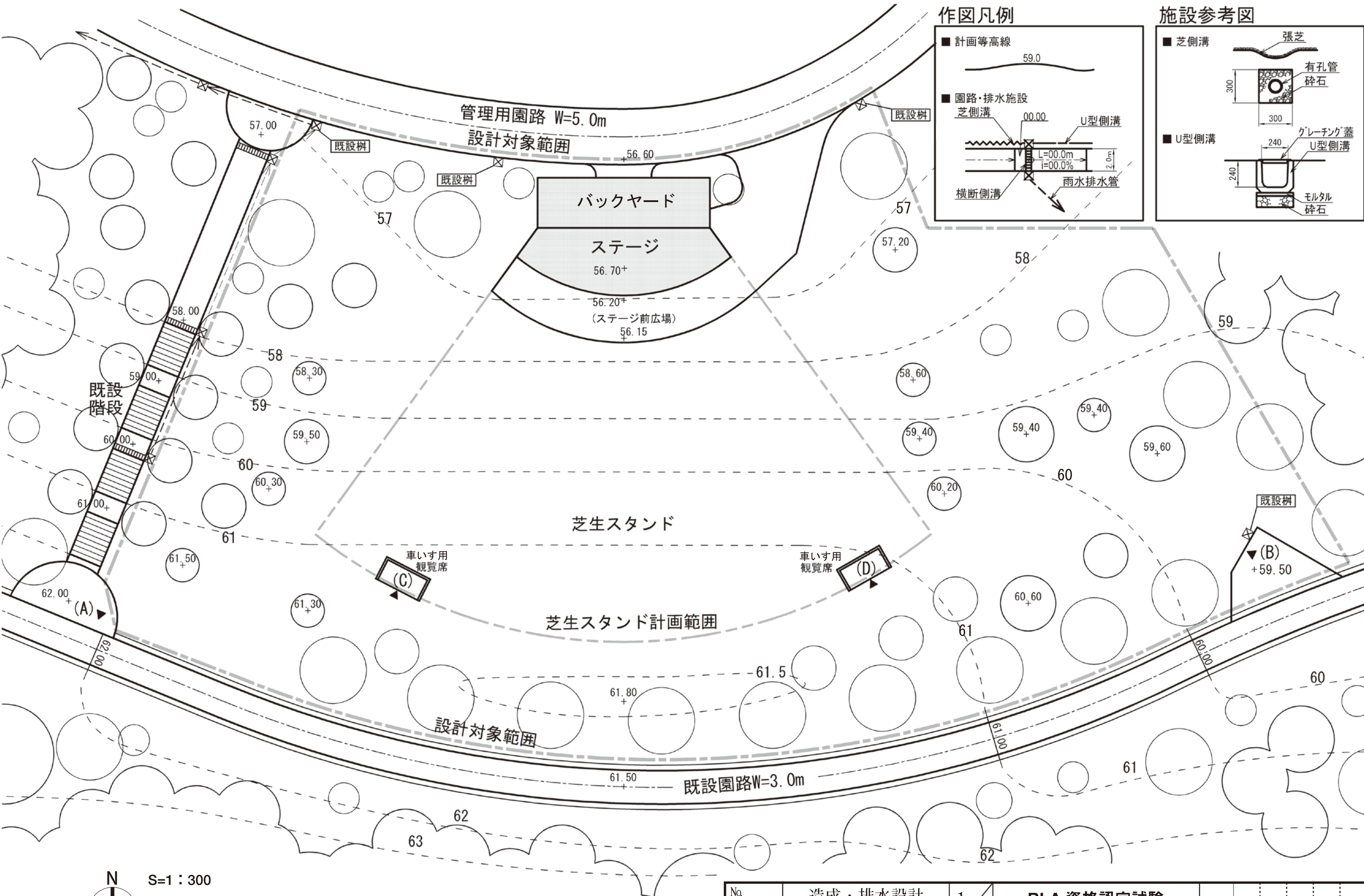
雨水排水管

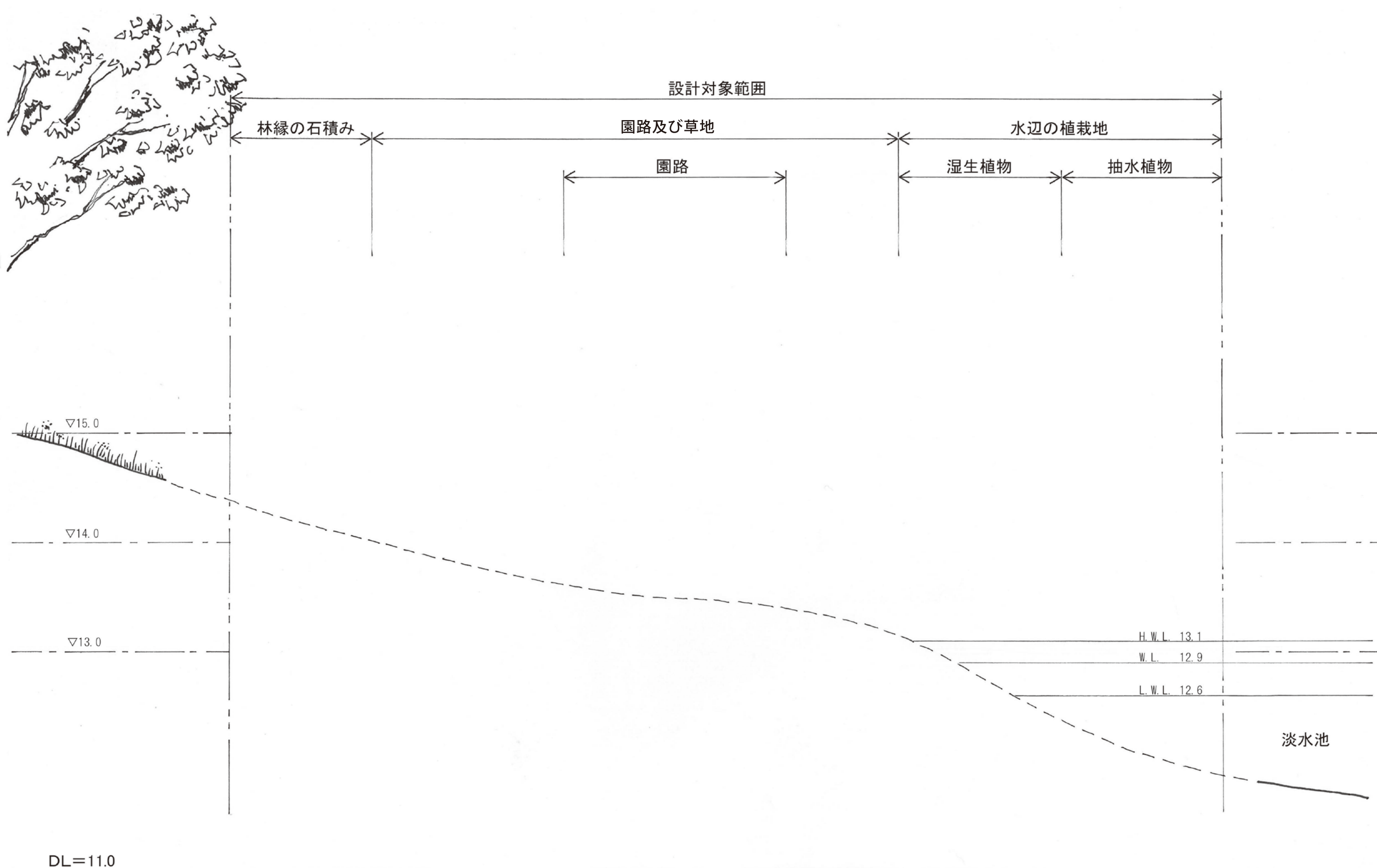
横断側溝

The image contains two technical diagrams of drainage structures, labeled with black squares and Japanese text.

芝側溝 (Grass Side Drain): This diagram shows a cross-section of a drainage structure designed to be covered by grass. At the top, a layer of grass is labeled '張芝' (Grass mat). Below it is a square structure with a side length of 300 units. The top surface of this square is labeled '有孔管' (Perforated pipe) and is filled with '碎石' (Gravel). The bottom of the structure is a solid base, also 300 units wide.

U型側溝 (U-shaped Side Drain): This diagram shows a cross-section of a standard U-shaped drainage structure. The top width of the structure is 240 units. The depth of the U-shaped channel is also 240 units. The top surface is covered by a 'グレーチング' (Grating) '蓋' (Cover). The side walls of the channel are labeled 'U型側溝' (U-shaped side drain). The bottom of the structure is a base layer consisting of 'モルタル' (Mortar) and '碎石' (Gravel).

[illegible]


$$DL = 11.0$$

S=1 : 30

No.

5

詳細図

解答用紙

1

1

RLA 資格認定試験

Registered Landscape Architect

受験番号

淡水池